

主題：信徒

メッセージ 37

彼らの現在——神聖な同形化のために、神聖な造り変えにおいて神聖な三一の分与を享受する (1)

聖書：Ⅱコリント 3:18. ローマ 8:28-29. 12:2. ピリピ 3:10. ヘブル 10:19-20. I ペテロ 2:21

I. 造り変えられるとは、キリストがわたしたちの存在の中に加えられて、わたしたちであるものを置き換えることです。それは、キリストがわたしたちの中で増し加わり、わたしたちの天然の命が減少するためです。それは、命を与える霊としてのキリストの新しい要素を加えることによる、神聖で、霊的な新陳代謝であり、わたしたちの天然の存在の古い要素を排出し、わたしたちを新創造とします——Ⅱコリント 3:18. ローマ 12:2. ガラテヤ 6:15. ヨハネ 3:30. コロサイ 2:19 :

A. わたしたちのクリスチャン生活と召会生活は、「栄光から栄光へ」です。栄光とは、復活させられたキリストご自身、命を与える霊としての「開花する」キリストです——Ⅱコリント 3:18. 4:1, 16-18. ヨハネ 12:23-24. 17:1. ルカ 24:26 :

1. 今やわたしたちは、わたしたちの霊に内住するその霊を持っているので、祈り、御言を祈り読みし、主の御名を呼び求めることによって、ますますわたしたちの霊を活用する必要があります——Ⅱコリント 3:17. 詩 71:14. 箴 4:18-23. 士 5:31. マタイ 13:43。

2. わたしたちは思いが新しくされることによって造り変えられつつあります。思いはただ依り頼むだけではなく、新しくされるべきでもあります——ローマ 12:2. 8:6. 参照、7:25。

3. わたしたちは思いの霊の中で新しくされることによって造り変えられつつあります。ミングリングされた霊はわたしたちの思いの中へと広がって、それに浸透し、所有し、征服し、服従し、支配します。そのとき、わたしたちは感情と意志において、自動的に新しくされます。なぜなら、思いは感情を調整し、意志に影響を与えるからです——エペソ 4:23。

B. 思いが新しくされることによって造り変えられることの結果として、信徒たちは召会を建造するための尊い材料、すなわち、金、銀、宝石となります——Ⅰコリント 3:9-12. 詩 68:11-13, 19-20。

1. 金、銀、宝石は、三一の神のさまざまな経験と、属性を表徴します。すなわち、父なる神はご自身の神聖な性質において金であり、子なる神はご自身の贖いにおいて銀であり、霊なる神はご自身の造り変える働きにおいて宝石です——Ⅰコリント 3:12 前半。

2. 造り変えは、三一の神の属性を追い求める信徒たちの中へと造り込んで、彼らの美德とならせることです。そのような造り変えは、ただ正当な召会生活の中だけで、成就する者たち、「造り変える者」を通して起こります。彼らは造り変える三一の神と協力します。——雅 1:10-11. エペソ 4:11-12。

3. 神聖な命の流れが、熱と圧迫のただ中で、わたしたちが主と絶えず語るのを実行することを通して、わたしたちの中に流れるとき、わたしたちは神の神性にあざかり、わたしたちを神格においてではなく、命と性質において神と同じにし、ご自身の拡大し、拡張した表現となります——ピリピ 2:5, 4:6, ヨハネ 3:15, II ペテロ 1:4, エペソ 3:16-21。

II. 造り変えは、神の御子のかたちに同形化されるという結果になります。それは、彼が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。キリストに同形化されることは、わたしたちの運命であり、わたしたちの目的です——ローマ 8:28-29, エレミヤ 48:11 :

- A. 造り変えは、内側のものであり、形における新陳代謝的な変化を含んでいます。他方で、同形化は外側のものであり、命を形づくること、わたしたちを神の長子の形、鑄型、かたちへと形づくることを示します。
- B. わたしたちは、キリストの命の中で、わたしたちの自己の様から救われて、神の子たちの外観を帯びる必要があります。わたしたちの自己の様から救われることは、神の長子のかたちに同形化されて、彼の団体の表現となることです——ローマ 5:10。
- C. わたしたちは現在、円熟の過程の中に、すなわち、造り変えと同形化の過程の中にいます。それは、わたしたちが実際において神の子たちとなり、主が神の表現を回復されるためです——ヘブル 6:1 前半, 2:1, 3, 10-11。
- D. このことに関して、わたしたちの自己の努力は役に立ちません。ただ一つのものだけが優勢です。すなわち、わたしたちの中で成長し、わたしたちを聖別し、わたしたちを造り変え、わたしたちを形づくる神聖な命です。わたしたちが必要とするのは、神聖な命をより十分に経験することです——ローマ 8:2, 6, 10-11。

III. わたしたちはキリストの復活の力によって、彼の死に同形化されつつあります——ピリピ 3:10, ヨハネ 12:23-26, 31-32, 14:20, 30, 23 :

- A. わたしたちはキリストの中へとバプテスマされ、キリストの中に入れられました。わたしたちはキリストの中にいるので、彼が経過されたことは何であれ、わたしたちの歴史です——ガラテヤ 3:27, I コリント 1:30。
- B. わたしたちは祈る必要があります。それは主が、わたしたちが彼の中におり、またわたしたちが彼と共に十字架につけられたという事実についての明確なビジョンをわたしたちに与えるためです。ローマ第 6 章 6 節における「わたしたちは次のことを知っています」は、実は霊的なビジョンにおける事実を見ることを指しています。
- C. わたしたちの古い人、わたしたちの墮落した、天然の存在がキリストと共に十字架につけられたという事実に基づいて、わたしたちは内住するその霊と協力して、わたしたちの実践的な生活において、わたしたちの存在の表現としての肉を十字架につけなければなりません——ガラテヤ 5:16, 24。
- D. その霊によって体の行ないを死に渡すとは、恒常的な毎日の訓練であり、わたしたちが肉にしたがって習慣的に生きることをしないことを意味します。これはわたしたちが意志を活用することを通して、主と組み合わせられることを必要とします。わたしたちは強い決心をして、言う必要があります、「主よ、わたしはあなたの側に付きます。わたしはあなたの死に同形化されたいです。主よ、わたしをあわれんでください。それは、わたしがもはや肉にしたがって、習慣的に生きず、わたしの天

然の生活の習慣をすべてわきに置くためです」——ローマ 8:13. I テモテ 4:7. ピリピ 1:21 前半。

- E. わたしたちは、キリストの死の鋳型をわたしたちの生活の鋳型とする必要があります。キリストの死の鋳型は、彼の人の生活が絶えず死に渡され、彼が神の命によって生きることを指しています——ヨハネ 3:19, 30. 6:57. イザヤ 7:14-15。
- F. わたしたちがそのような鋳型に同形化されつつあるとき、わたしたちは人の命に対して死に、神聖な命によって生きます。こういうわけで、わたしたちはキリストの復活の力によってキリストの死に同形化され、わたしたちを内省的な自己から救い出されます——雅 2: 9, 14。
- G. キリストの死に同形化されることは、わたしたちの毎日の経験でなければなりません——I コリント 15:31。
- H. 十字架を負うことは、キリストの死の殺しの下にとどまることであり、わたしたちの自己、わたしたちの天然の命、わたしたちの古い人をを終結させるためです——マタイ 16:24。
- I. 十字架を担うことが意味することは、十字架から離れるのではなく、キリストの死にとどまり、彼の死をわたしたちの家とするということです。十字架を担う人は、十字架と一であり、十字架から分離することができません——ガラテヤ 6:17. 参照、啓 21:21。
- J. 自己を否み、十字架を負い、魂の命を失うことを真に経験することは、聖霊の交わりの中でのみ起こります。わたしたちは、神が大いなる喜びとなるためのわたしたちの魂を通して、神をわたしたちの霊に受け入れ、彼を表現するとき、また聖霊の交わりに生きる時にのみ、わたしたちは真に見ることを見、真に経験することを経験します——II コリント 13:14. 詩 43:4 前半. ヨハネ 16:13。
- K. 信徒たちが彼らの魂の命を失うとは、彼らが自分の父、母、妻、子供、兄弟、姉妹、さらに自分の魂の命までも憎む（主以上に愛さない）ということです。それは、彼らの魂が来たるべき時代に、時代の刑罰から救われ、主の喜びにあずかるためです——マタイ 10:37-39. ルカ 14:26. I ペテロ 1:9. マタイ 25:30, 24:51. ヘブル 10:39。

IV. わたしたちが、神聖な同形化のために、神聖な造り変えにおいて神聖な三一の分与を享受します。それは、イエスに従うためのイエスの血によって、至聖所へと入ることによります——10:19-20. I ペテロ 2:21 :

- A. 今日の至聖所は、主イエスがおられる天にあるのですが、天におられるまさにそのキリストは、今やわたしたちの霊にもおられます。わたしたちが霊に戻り、霊を活用するとき、わたしたちは天の門に入り、恵みの御座、また天のはしごとしてのキリストと接触します。それは、わたしたちが徹底的に、神で注入され、神と結合されるためです——ヘブル 9:12, 24, 4:16. 創 28:10-12, 17. ヨハネ 1:51. エペソ 2:22. II テモテ 4:22。
- B. わたしたちが霊の中で、恵みの御座、また享受できる神の支配する臨在であるキリストに進み出るとき、わたしたちは彼をあわれみとして受け、また彼を時機を得た助けとなる恵みとして得ます。それはまさしくわたしたちの状況と必要に適合しま

す——ヘブル 4:16。

C. ペテロがどのような死に方で神の栄光を現すかを示された後、主イエスは彼に、「わたしに従って来なさい」と言われました——ヨハネ 21:19 :

1. わたしたちが従うべき「わたし」は、わたしたちの中におられます。わたしたちは自分自身の意志にしたがって主に従ってはならず、主の導きにしたがって彼に従わなければなりません—— 18 節. ローマ 8:14。
2. さらにわたしたちは、他のものに注意を払うことなしに、彼に従わなければなりません。ペテロがヨハネについて尋ねたとき、主がペテロに告げられたことは、ヨハネに起こることが彼には何の関係もないことであり、彼が主に従わなければならないということでした——ヨハネ 21:20-22。

D. 主に従うことは、幕の内側に入って行き、営所の外に出て行くことです——ヘブル 6:19-20. 13:13. 出 33:7-14 :

1. 営所の内側に入ることは、主が栄光の中で御座についておられる至聖所、わたしたちの霊に入ることです。営所の外に出ることは、宗教から出て来ることです。宗教のゆえに、主は拒絶の中で追い出されました——参照、 I ペテロ 2:21。
2. わたしたちがわたしたちの霊に入ることによって、幕の内側に入るとき、わたしたちは天的なキリストの甘さを味わいます。それは、わたしたちが営所の外に出て、地とその愛を放棄することができるようにします。
3. わたしたちが霊の中において、天的なキリストを享受すればするほど、ますますわたしたちは宗教の営所の外に出てきて、苦難を受けられたイエスに従います。
4. 幕の内側にいることは、至聖所、わたしたちの霊の神聖で奥義的な領域の中に入ることです。そこで、わたしたちはキリストにあずかり、彼を隠されたマナ、芽を出した杖、命の律法として享受して、神の永遠の定められた御旨の完成のための神の団体的な表現となります——ヘブル 9:3-4。